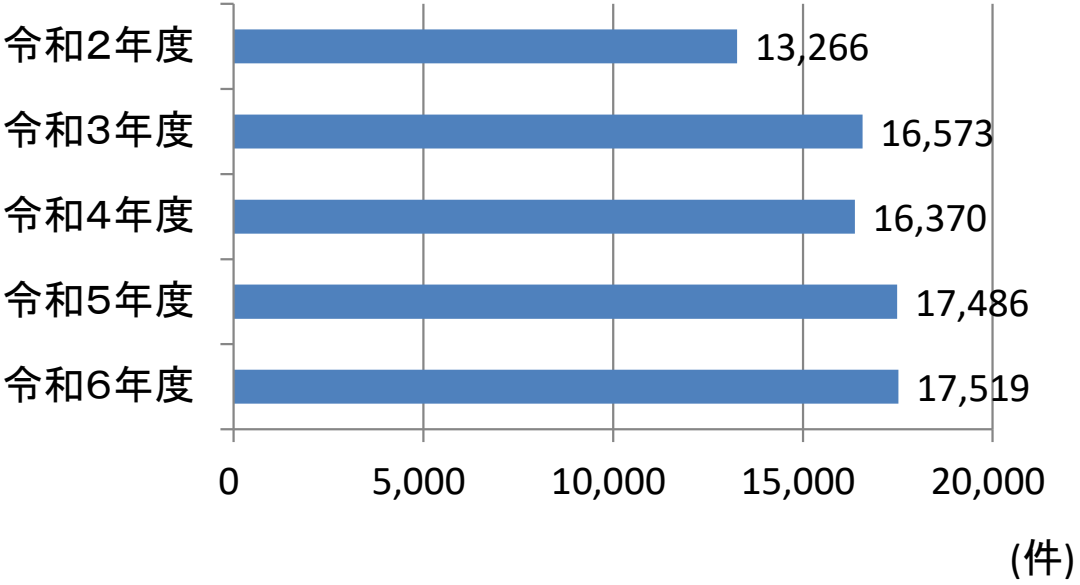


20 病理組織診断件数

解説	病理診断の結果に基づいて、治療の必要性や治療方法が選択されます。病気の最終・確定診断がどの程度行われているかを表す指標です。大学病院は高度な治療を行うだけでなく、その前提となる診断が適切になされることが肝要であり、正確な診断にも同じ重きを置いています。正確な診断の最終根拠として、病理診断が要ですが、診療全体の中で病理診断が必要となる状況がどの程度あるかを示します。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13,266</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>16,573</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16,370</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>17,486</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>17,519</td> </tr> </tbody> </table> (件)	年度	件数	令和2年度	13,266	令和3年度	16,573	令和4年度	16,370	令和5年度	17,486	令和6年度	17,519
年度	件数												
令和2年度	13,266												
令和3年度	16,573												
令和4年度	16,370												
令和5年度	17,486												
令和6年度	17,519												
定義	1年間の医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」及び「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の件数です。入院と外来の合計として、細胞診は含めません。												